

[現状と課題]

■ J C の認知度はまだまだ低く、地域住民を巻き込んだ J C 運動が展開できていないために事業効果としても不十分に終わっている現状があります。地域住民が J C 運動に賛同できるような運動を展開し J C の魅力を広く認知して頂くことが課題で

[目的]

■ 地域のリーダーとして、地域活性化、地域貢献、私たちの住みよいまちづくりのために活動を行っております。奈良県民の方々や、県内企業及び地方公共団体なども一丸となり住みよいまちづくりにつなげていくことを目的と致します。

[事業内容]

■運動1

参議院議員選挙に伴う県民参画意識の醸成 (事業)

1) 実施に至る背景：

県民、特に若者の政治参加意欲が乏しく、奈良県民の政治的要求が国政に反映されていないため、若者を中心とした奈良県民の政治参加意欲を高め投票率を上げる必要があります。

2) 目的：

若者が政治に関心を持つことで、人口に占める割合が少ない県内の若者の意見が確実に国政に反映されると共に、若者が地域の教育、経済等の課題を考察する機会となることを目的と致します。

3) 事業内容：

県内教育機関と連携を取り、学生の方と事業構築から携わってもらうことにより若者を中心とした参加者を集め、参議院議員選挙立候補者の方々に地域の課題や問題、選挙に行く必要性などをお話して頂ける場を提供いたします。

4) 実施期間： 7月25日に選挙が行われるため、6月後半～7月頭に向けて事業を行います。

5) K G I： 参加者へアンケートを実施し、投票へ行こうと思ってもらえる方を80%をゴールとします。
参加者内で80%の方が投票に行ってもらえることで、若者の参画意識を高めることができます。

6) 得られる効果：

若者が地域の課題を考察することで、若者と共に地域の課題に取り組み、地域の活性化につながると感じております。

7) パートナー：

各教育委員会、各行政の方々、立候補者、大学生、各大学

■運動2

ブロック協議会 褒章事業の実施 (事業)

1) 実施に至る背景：

J C 運動をより良いものへと高めていくためには、J C 内部の評価だけではなく、外部から多角的な評価を頂く必要があります。

2) 目的：

対外の方々に意見を頂くことにより、今まで以上に私たちの活動が地域に貢献できる運動につながっていくことを確認し、より良い事業を行っていくことを目的と致します。

3) 事業内容：

県内9 L O M が行ってきた運動の中で地域課題解決に関し最も成果をあげた運動を各 L O M から選出し代表者に発表して頂き奈良ブロック内だけでなく、対外の方々からも審査して頂きます。審査結果を後日アワードにて表彰します。また、表彰させて頂いた動画は対外の方々へも視聴して頂けるようにホームページや SNS で公開します。

4) 実施期間： 10月褒章、12月アワード

5) K G I： 県内9 L O M メンバー参加率60%以上をゴールとします。

他 L O M での事業活動などにも理解、認知をして頂き外部審査を設けることにより賞を贈呈し、今後の活動に生かします。

6) 得られる効果：

私たちの運動が社会にとってどのように貢献ができたのかを検証し、メンバーの意識が向上することにより、地域へのさらなる貢献につながる効果が期待されます。

7) パートナー：各 L O M、奈良県商工会青年部連合会、奈良県中小企業青年中央会、奈良県商工会議所青年部委員会、N P O 法人げんきもんプロジェクト、奈良県くらし創造部青少年・社会活動推進課、奈良県 P T A 協議会、奈良県社会福祉協議会、奈良県産業雇用振興部産業政策課

■運動3

J CカップU-11少年少女サッカー大会奈良県代表チームの選出

(事業)

1) 実施に至る背景：

青少年スポーツは社会教育の一助となってきましたが、新型コロナウイルスの影響により、自粛要請や休校、各スポーツ大会中止など、子供たちの取り巻く環境は大きく変化しており、他者と協力し同じ目標に向かいチャレンジする機会を提供する必要があります。

2) 目的：

大会を通して子供たちが交流をはかることで、真剣勝負の先にあるリスペクト精神やチャレンジ精神を感じることで、未来を担う子供たちに相手を思いやる心、チャレンジする心を学ぶ機会とし、健やかな心を育むことを目的とします。

3) 事業内容：

アスカカップと連携し、奈良県代表チームを選出します。

4) 実施期間： 6月実施予定（アスカカップと連携）

5) KGI： 公益社団法人日本青年会議所が実施するJ Cカップ及び、近畿地区協議会が実施する地区予選大会へ奈良県代表チームを選出することで、子供たちが同じ目標へ向かいチャレンジする機会を提供し子供たちの育成の場をつくります。

6) 得られる効果：

同じ目標に向けてチーム一丸となりチャレンジすることで子供たちの健やかな心を育む機会とします。

7) パートナー： 青少年サッカーチーム、近畿地区協議会、一般社団法人奈良県サッカー協会、アスカ美装株式会社

■運動4

ホームページの運営及び管理・ブロック協議会の広報並びに管理

(推進)

1) 実施に至る背景：

広報ツールが多様化する中、利用者が情報を選択する時代となりました。ブロック協議会の発信においても、デジタル媒体を積極的に活用し、閲覧意欲を高める情報発信等を行っていく必要があります。

2) 目的：

組織の認知度、関心度を高め、地域の方々に理解をして頂くことで地域の方々と共に、地域課題や地域貢献につなげていくことを目的とします。

3) 実施期間： 1月初旬 2022年度がスタートするとともに発信していくため。

4) 事業内容：

各地域のアピールしたいお店や施設などを順番に取り上げて頂きます。取材や写真などまとめて頂き、奈良ブロック協議会のSNSに取り上げさせて頂くことで一般の方々へ興味を持って頂きSNSのアクセスを増やします。SNSに奈良ブロック協議会のホームページをリンクすることにより奈良ブロック協議会の認知拡大にもつなげていきます。

5) KGI： 2022年度、奈良ブロック協議会ホームページの合計アクセス数を3700回にする。

Instagram、Facebook、Twitter、YouTube含め、2022年度総フォロワー数を2100回にすることにより奈良ブロック協議会の認知度、関心度を高めていただきます。また各LOMへのアクセスも増やすことが可能になります。

6) 得られる効果

活動の様子を発信することで、ブロック協議会のブランド力を高めます。

7) パートナー： 県内9LOM、ブロック委員会、J Cブランドマネジメント会議、ブランディング戦略委員会、県内各種企業、地域事業者、地域住民、各公共団体